

平成23年度

東北六県山岳連盟《協会》連絡協議会 報告

報告者

会長 清野 孝

副会長 佐々木義博

期 日 平成23年5月7日《土》～8日《日》

場 所 宮城県名取市『熊野堂温泉』会議室

出席者

青森県 服部会長 川端理事長

岩手県 高橋会長 小山事務局長 吉田晴彦国体部長 佐藤指導部長

秋田県 佐々木会長 池田副会長

山形県 清野会長 佐々木副会長

福島県 尾形会長 三森副会長 佐藤理事長 佐藤事務局長

宮城県 濱田会長 吉田副会長 斎藤理事長 浅野事務局長 小山指導部長 岡事務局

内 容

受 付 13:30～13:50

開会式 13:50～14:00

開会式で宮城県濱田会長挨拶

全体会 司会進行 吉田副会長により進行

- 1) 出席者自己紹介
- 2) 日山協近況報告

山形岳連清野理事から昨年11月開催のブロック会議以降の日山協臨時理事会及び総会の状況内容を報告、今年5月開催に総会で日山協定款変更が予定されている、このことを後の議題で詳細にわたり協議したい旨報告。

- 3) 平成23年度第38回東北総体山岳競技会について

昨年ブロック会議において開催が協議され宮城会場が決定し準備を進めていたが3月の東日本大震災の影響で開催できる見通しがつかないため、会場を岩手県盛岡市内昨年開催した会場での開催を協議、種々経過や手続き上の課題、問題はあったが岩手県にお願いして開催することを決定。尚、期日は7月29日～通常の日程で実施することを決定した。尚、開催に要する経費や役員などについては両県で詳細を詰め正式な要綱を宮城県から流すことを確認した。

又、成年男子の競技は実施しないことを確認した。

- 4) 日山協に定款変更について

来週日山協理事会、総会で定款変更や細則について提案がなされる予定である、

定款変更については先の評議員会でも説明があったが、今回の協会が公益法人に移行するため避けて通れないようである、東北理事清野からも説明をしたがやはり、詳細な説明不足は否めない状況であり、今後新しい理事や総会席上を通じ、更なる協会からの説明補足を求め地方岳連と協会のつながりが細くなることのないように対処すべきとの意見が多かった。尚、定款にあるブロック山岳協会の設置にはまだ内容を精査していく必要があると感じた。

5) 東日本大震災後の登山道の点検について

福島県から大震災で山が大きく崩壊したり、岩山が崩れたいしているところがある、福島岳連では雪解け後関係する山々を山開きなどの行事を通して調査する方向である、各県においては関連する情報の提供や共有に御協力をいただきたい旨提案があった。

6) 平成24年度第39回東北総体について

秋田岳連から大まかな大会会場について説明があった。

7) 情報交換

各県から運営状況について報告、岩手県から岩手山トレイルランニングについて報告、

秋田県から秋のブロック会議の日程について、11月26から27日周辺で調整。

8) 各県から23年度の事業計画について報告があり会議が終了した。

翌日全体会まで進め午前10時定時に終了解散となった。